



路 政 僧

第五十四議會遂に解散、併し茲に落  
 附く迄には幾多の惱を藏した、夫れは  
 制限選舉から一步を進めた大衆選舉の  
 結果が兩黨現有勢力を維持し得るか  
 疑惧し、選舉運動費調達難きの爲に、  
 解散回避の手段を奈邊に求むるかであ  
 った、之が爲には狐さ狸の智慧較べを

▽ △

やつた、反對黨議員の切崩し乃至は兩  
 黨首の會見、等々、昭和初頭に妥協  
 苟合の舊式政治に呪はれかかつたが、  
 幸に歲は社會改革の歴史を持つ戊辰、  
 魔手を防止し得たのは、我が立憲政治  
 の爲に喜ぶ。  
 解散の内面的動機が何に胚胎したか  
 判らないが、よし既成政黨の眞意でな  
 かつたにしても、其の歸結普選の實現

を早め、三百五十萬の有權者が千二百  
 五十萬に増加して参政すること、社會  
 の進歩を言ふべし、政友會内閣が解散  
 を斷行して茲に至らしめたのは、輿論  
 の要求に聽從した遣り方、唯だ其のこ  
 こだけでも政友會の勝目、併し理論上  
 少數黨内閣が第一に採るべきものは議  
 會の解散に在る、唯だ政友會内閣はそ  
 の當然のこころを爲したと言ふに不過、  
 當然のこころを爲し得ざる現時に之を  
 爲し得ただけでも、政友會の賢、併し  
 最初から解散斷行の肚裏なら野黨に質  
 問を許し堂々争ふがよかつた、蓋し  
 議政壇場に於て主張するところは、い  
 つの間にもやら豹變する政黨の宣言と違  
 つて國家國民に對する公約、國民は之  
 を聽て政黨の主義主張を判斷するの資  
 料に供するに不拘、質問戦封じに専ら

であつたのは反言論政治、政友會の爲めに惜む。



解散に依つて實現を早められた普選、國民大衆の意思を國民共同生活に律する政治に反映せしめむとする趣旨に不外、今や選挙酬なるのとき、新たに選挙權を附與された九百萬の新有権者は政治的に覺醒するが可い、見給へ、制限選挙に依つた代議士が策した從來の政治は何を物語つたかを、唯だ強き者へ強き者へミ計つて、中産以下階級者の爲には何等の考慮を拂はなかつたではないか、國民大衆が生きむが爲に着るもの喰ふものに迄、間接的國家の負擔を課しながら、特權階級者の負擔輕減に圖つた、にも不拘國民の大

衆は其の施政に無關心を餘義なくされ、此不合理を除くのが普選の最大目的、是を想ふときは假令一票ミ雖、忽にすべきでない。

選挙の目的、國民生活に適合する政策を標榜する政黨を選択し、之に屬する、よりよき國民の代表者を選出する一事に在る、立候補者の屬する政黨の主義政策ミ、國民共同生活上要求すべきものミ符合するやを驗し、候補者其の人の人格に鑑みて選挙するが可い、職業政治家の甘言に惑はされ、景氣附けのお土産案や利權の誘惑に陥つたり地方的利害に即するのは、普選の制度ミ其の効果を自ら侮るもの、唯だ帝國全體の利害に即して自由に公正に投票するのが新有権者の義務、夢忘れてはならぬ。

立候補者も時勢に鑑みて舊態を改むるが可い、金權萬能の時代は既に過ぎ去つた、金權に依る選挙——夫れが我が國政治を茶毒し、政黨を墮落せしめた主要原因、選挙費用制限制度の起つた所以、茲に在る、投票の買収、賣る者買ふ者共に選挙法違反ミしても、買ふが爲に賣る結局買収者の罪に歸す、制限超過の支出、法は之を以て當選無効の制裁を加ふ、併し誤魔化し去るのは這般の府縣議選挙に徴して明か、選挙の公正を期する爲めには金ミ選挙を分離し之を糾すが最上策、併し與黨も在野黨も共に脛に傷を持つ、同病相憐み之を檢舉せざるが如きは尙大に政界革新を要するの徴。

選挙法に對する非難、之が立法に參加した者の口より叫ばる、人間の造つ

た法則、何れ完璧を期することが出来ないにしても、有権者は法の精神を解せず、立候補者は其の適從する所に惑ひ、選舉事務に干與する官公吏は法の解釋に苦むやうでは、立法の權威は零、内務省發行選舉法の質疑集が之を裏書きす、蓋し何事も法定して一點の疑なからしむるのは結構、が併し一部を細定して他の一部を言はざるは、法定萬能の思想に禍された立法の缺點を評すべく、通牒を以て其の缺を補ふ如きは寧ろ細定方法を排して自由解釋の餘地を存するに不如。

選舉戰の酣なるにつれ、官憲干渉の聲、在野黨より喧傳さる、選舉時に於けるいつもの嘆聲、曰く民政黨パンフレット押收問題、曰く民政黨選舉監視委員會に於けるスパイ問題、曰く無産

黨に對する言論壓迫、曰く何々、隨分神經過敏化して來た、併し首相攻撃のパンフレットに對しては亦夫れを辯駁するものを以てすれば可、スパイを恐るゝ位なら、監視委員會なきを設けざるか可、何れも小問題、二大政黨と自稱する兩者が血相かへて騒ぎ立てる程の問題ではない夫れよりはモ一少し兩黨の主義政見を公開して争ふが可い。

民政黨の選舉監視委員、現内閣で誠首された地方官の集團、之を以て政府の選舉取締りを監視せしめむと策す、不公正な選舉取締を監視して違法あれば摘發する固より結構、之が公正に行はるれば選舉取締の私設補助者、吾れ此舉に賛するに吝でない、が併し選舉監視に名を藉つて舊任地の部下を威嚇

乃至は私情を楯にスパイに使用するに在りませば、吾人斷じて之を排す、蓋し是等は折角の普選を不公正ならしむるの外、更に進んで官吏を政黨渦中に躍動せしむるに到り、選舉界と官界を茶毒する機關に外ならぬからである、尙首された地方官、少しは國家の前途に注意するが可い。

現内閣の行つた地方長官の交迭、之を目して選舉干渉の準備行爲とし攻撃した民政黨、今又選舉監視委員を設けて、地方長官以下の下級官吏までを政黨化せむとす、猿の尻笑ひとして看過する程輕易な問題では無い、二大政黨が明確に對立する現時に於いて、行政事件を執行する地方官が、公益を目標に特に嚴正中立に在るべきの秋、之を使噉して政黨化せむとす其の罪斷じて

不許、地方官が一黨一派に偏倚するに至らば國利民福は得て望む不能、地方的政治は兎も角、全國的に行はるべき行政が、政黨や夫れに偏倚する人の如何に依つて相異なる如きに至らば、夫れこそ國家の基礎を危殆に導くもの、選舉に依る政黨消長以上の問題。

是を以て不合理な地方長官の異動乃至讖首は、何れの内閣に雖慎むべき事人事行政に深思熟慮を要する所以、然るに之を是れ思はず、いつの内閣も私情私怨に非ずんば黨利黨略の爲に人事を決し、事務官たるべき地方長官を政務官化し、吾は某黨の内閣に任命された地方長官、某黨の爲に活動するを以て部下も亦心得へよ、と訓示する地方長官を觀るに至る、國家の前途寔に憂慮に不堪。

知事の立候補、必ずしも咎むべきでない、併しながら我國最初の普選に於ける選舉事務は一層の重要性を有し、之を嚴正に執行する責任を有する地方長官が、立候補の爲に主管事務を顧みざるは、官吏服務規律に違反し職職の甚だしきもの、勇らしく辭職して候補者たれ、夫れが官吏と議員と相兼ねることを許さざる法の精神、二股鬻藥は社會の許容せざる所と知るべし。

知事の立候補、何れも與黨を標榜す、在官して政黨の走狗たるものよりは、寧ろ其の勇らしきを喜ぶ、併しながら四十八の地方長官中一人も在野黨を標榜するもの無きは、知事嚴選の結果か、夫れも無氣概の致す所なるか、知事の小利口、吾れ之を憐む。

議會解散に依つて禍されたのは、昭和三年度豫算の不成立、消極政策の下に前内閣の編制した現年度豫算を踏襲するの已む無きに至る、人或は放漫豫算の不成立を喜ぶ、併しながら産業立國に基礎して編制された豫算の不成立は、消極的に編制された豫算の不成立とは違つて社會に齎す影響頗る大。

自動車が発達した今日、公債増募の方法に依つてまで行はむとする鐵道敷設既定計畫の繰上げ乃至は新線の追加を策する豫算の不成立は別として、自動車交通に即して産業立國の爲に計畫された、産業道路助勢豫算が不成立に終つた如きは、其の實現の遅るれば遅る、だけ國民生活に不利益を來す。吾人此意味に於て豫算の不成立を嘆す。